

- 屋上に太陽光パネルを設置。太陽光パネルで得た電力と、購入した非化石証書付の再生可能エネルギーを活用することで、100%再生可能エネルギーで社内電力を賄う。
- リサイクル素材や天然素材にこだわったサステナブルブランドの確立がオリジナル商品の受注、当社の取組に共感いただいた百貨店等との新規取引に繋がった。

○SDGs経営に取り組み始めた経緯

- ・当社の主力商品が防寒に関連するものであることから、業績に大きく影響する気候変動や地球温暖化については**以前より高い関心をもっており**、SDGs経営の理念にも共感できた。
- ・会社の**ブランディング活動をきっかけに**、SDGs経営の取組を開始。まずインナーブランディング（自社の従業員に向けて行うブランディング）から始め、次にアウターブランディング（消費者や顧客などの社外に向けたブランディング）へと移行。**アウターブランディングを進める課程で、よりSDGs経営の実践を意識するようになった。**

○SDGs経営に取り組んで良かったこと

- ・リサイクル素材や天然素材へのこだわり、永久定番商品の開発、片手・片足販売による愛用支援等を軸とした**サステナブルブランドの確立がオリジナル商品の受注、当社取組や商品コンセプトに共感いただいた百貨店等との新規取引に繋がった。**
- ・メディアに取り上げられる機会が増え、**SDGsに積極的に取り組んでいる会社としてのイメージが対外的に浸透し、アウターブランディングに寄与した。**
- ・メディアへの露出が増え、社員の子どもたちにお父さんお母さんがこんな会社に勤めていると**知ってもらえる良い機会となった。**
- ・当社の取組が少しずつ注目されるようになり、「人に優しい会社」というイメージが定着してきた。**新規入社、正社員登用の希望者が増え、既存社員の定着率も向上。仲間意識が高まり、社内の一休感も醸成されてきた。**



○SDGs経営の実践

- ・会社負担により、親睦を深めるための旅行、インフルエンザの予防接種といった社員に寄り添った活動を実施。社員のモチベーション維持を通じ、社員を大切にしよう取り組んでいる。
- ・**社員が働きやすい環境をいかに提供するか、環境に配慮した商品をいかに作っていくかといったことを大切にしている。**
- ・会社の屋上に太陽光パネルを設置し、一部電力を自家発電に切り替えた。更に社員の要望に応えるべく、**非化石証書付の再生可能エネルギーも購入。現在では、社内電力を全て再生可能エネルギーで賄えるようになった。**



- ・再生素材や天然素材で作られる商品の開発や、ファッション業界から食料廃棄を再活用するプロジェクトに参画。ゴミを可能な限り削減するため、芯なしトイレトーパーを導入。**様々な角度から環境問題に取り組む。**



- ・ペットボトルキャップの回収と寄付を実施する等、国内外の課題解決に向けた**寄付活動も積極的に**行なっている。



○サステナブルなブランドの確立

- ・再生素材や自然に優しい素材を使用し、廃棄予定の食材を染料として活用。**捨て糸などのロスを出さずに製造できるよう研究開発を進め、ゴミを出さない独自の編み立て法で生産するサステナブルな商品を展開している。**
- ・愛着のある手袋や靴下のペアの一方だけを販売して欲しいという要望が多くあり、「片方だけ無した」という理由で捨てられることがないよう、片方だけの販売を開始。
- ・**永久修理を保証し、モノを大切に長く使ってもらうことで、環境にとって一番優しい取組を実施している。**



○SDGs経営の今後の展開予定

- ・当社の取組を**webやセミナー等で発信している。**当社の取組を知っていただき、**同様に実装していただきたいという会社を増やしたい。**

○会社概要

香川県東かがわ市に本社を置き、1977年より手袋販売事業者として創業。手袋のほか靴下、ネックウォーマーなどニット製品の製造・卸売を主力に手掛ける。卸売事業においては、買場提案力、販売機会ロスの低減、商品デリバリー力、適正価格の実現化等に注力。地球温暖化が進む中で、天候に一喜一憂せず、自分たちから積極的に環境にやさしい取り組みをしようとして、昨年、新ブランド「ecuvo,」を立ち上げた。